

平成 21 年度 主な相談対応一覧

No.	時期	相談者 / 分類	内容
1	4月	商店主	商店街のグループでエコを勉強したい。講義と環境家計簿の付け方を教えて欲しい。 グループの学習会の出前講座を行う。
2	4月	海外の議員視察	海外から来る議員の視察に適しているか事前に打合せを行いたい。 機器操作やレクチャーは通訳しやすいようにゆっくりとする。
3	5月	議員視察	渡刈クリーンセンターや eco-T の運営について学びたい 渡刈クリーンセンターの説明は清掃施設課が担当し、eco-T の運営は、事務局が経過 や共働の特徴などを紹介した。
4	5月	市職員と学習施設 設運営職員	eco-T の基本方針、展示概要、ワークショップの内容、契約内容に関する聞き取り調査 経過や共働の特徴、展示の考え方や過去の実績を紹介。活動の手引きや報告書など 資料提供。契約関係の相談は環境政策課が担当した。
5	6月	市民団体	戦争の写真展を行いたい。またあわせて講演会なども実施したい。 eco-T を展示場として利用するのは大丈夫だが立地的に集客に疑問。講演会は、参加 者を募集する利用方法は認めていない。
6	6月	組合	夏休みに子ども向けのイベントを開催する。タレントを呼んでたのしいだけでなく、学び につながるような講義をお願いしたい。 地産地食やフードマイレージのことをレクチャーやクイズで出前講座として実施した。
7	7月	学会への参加	eco-T で取り組んできた共働について事例紹介した。
8	8月	共働推進課	共働事業提案制度でエコドライブをテーマに募集する予定である。市民団体がどのよう な形で実施するのがよいか。 eco-T の人材育成講座のOBのグループが同じテーマで実施していることを紹介。契 約主体はNPO法人が責任が担保されることを伝えた。
9	8月	大学学園祭	学園祭に来る近所の子どもたちにたのしくエコを伝えたいが、イベント性のある企画はな いだろうか。 エコライフすごろくなど、eco-T にある体験型展示やかえっこバザールを紹介。また、 大学生ボランティアも紹介した。
10	10月	大学	まちづくり懸賞エッセイのテーマや広報についての相談。 eco-T に来る客層(小学生、主婦)を対象にする場合のテーマ設定についてアドバイス を出した。また、eco-T でもチラシを配布した。
11	11月	環境モデル都市 推進課	トヨタ原体験プログラムを eco-T でも取り組んでももらえないだろうか。 内容がものづくりや力学が中心であるため eco-T の目的ではないので取り組まない。 学校教育課の夏休みのプログラムで取り組んでみる。
12	11月	豊田市自然観察 の森	市内学習施設の連絡協議会に出席。活動の情報交換を行った。後日、矢作川研究所より 機関紙への原稿依頼があり執筆した。
13	12月	企業(社員の福 利厚生)	企業が社員や退職者を中心とした会員に環境についての講義をお願いしたい。通常は、 健康や財テクといったことが中心だった。組織は解散するので継続性はないが 90 分の 講義をお願いしたい。

			昔と今、世界と日本の暮らしの違い、温暖化を知り、省エネの行動を伝える出前講座を実施した。なお、学習コーディネーターの現地研修ならびに製作中の展示製作プログラムの試行を兼ねて実施した。
14	12月	組合	講演会の参加者にエコ宣言をしてもらい、ビデオに収録して何かの機会に紹介したい。 エコ宣言しやすくするために物品提供(環境政策課)、収録したビデオは後日 eco-T で放送することとした。
15	12月	企業 (洗剤メーカー)	企業として遅ればせながら環境に取り組んでいる。洗濯のすすぎの水を減らせる商品を開発した。企業としてさらに地域や環境に貢献するために環境モデル都市である豊田市の取り組みを教えてください。 eco-T の活動、環境モデル都市の取り組みやとよたエコシール制度、eco-T から始まった豊森、その他企業の地域貢献の紹介を行った。
16	12月	市民団体	農山村の活性化などに取り組む市民団体より、農山村で活動する市民団体の交流会開催や農山村の活動施設づくりについて、eco-T の取り組みを参考にしたい。 交流会開催のプログラムの相談にのり、活動施設については、市と市民が共働していくために不可欠なコーディネーターの存在、また適正な予算算出のための愛知県の提言書を紹介した。
17	12月	環境モデル都市 推進課	環境モデル都市シンポジウムに関連してエクスカーションツアーの開催を予定している。 eco-T を訪問して、先駆的な取り組みを伝えられないか。 施設全体、展示室、市民会議の取り組みを紹介することにして、受入を行った。
18	12月	NHK	年末の大掃除の特集コーナーの撮影場所を探している。 以前お願いした講師からの紹介、eco-T の PR になるため承諾し、生放送の撮影場所となった。
19	2月	愛知県環境学習 施設等連絡協議 会	今年度はトヨタの森で開催。トヨタの森の活動を学ぶとともに、環境学習に関する意見交換を行った。
20	2月	企業・NPO	企業とNPOが協同で開発した学習プログラムの活用のために eco-T と連携できないだろうか。 eco-T のインタープリターも対象の学習プログラムに興味を持っているし、今年度取り組んだ学校もある。将来は、豊田での展開には eco-T も協力できる。
21	3月	ひまわり	次年度のこちらパトロールの協力の打診、テーマの設定を相談したい。 年4回、取材に対応することとした。

この他に、クラフトやレクチャーなどの出前講座の相談は日常的にあり、ホームページの活動実績を紹介した。